

口腔ケアによる肺炎予防効果及び 医療費への影響

○研究グループ

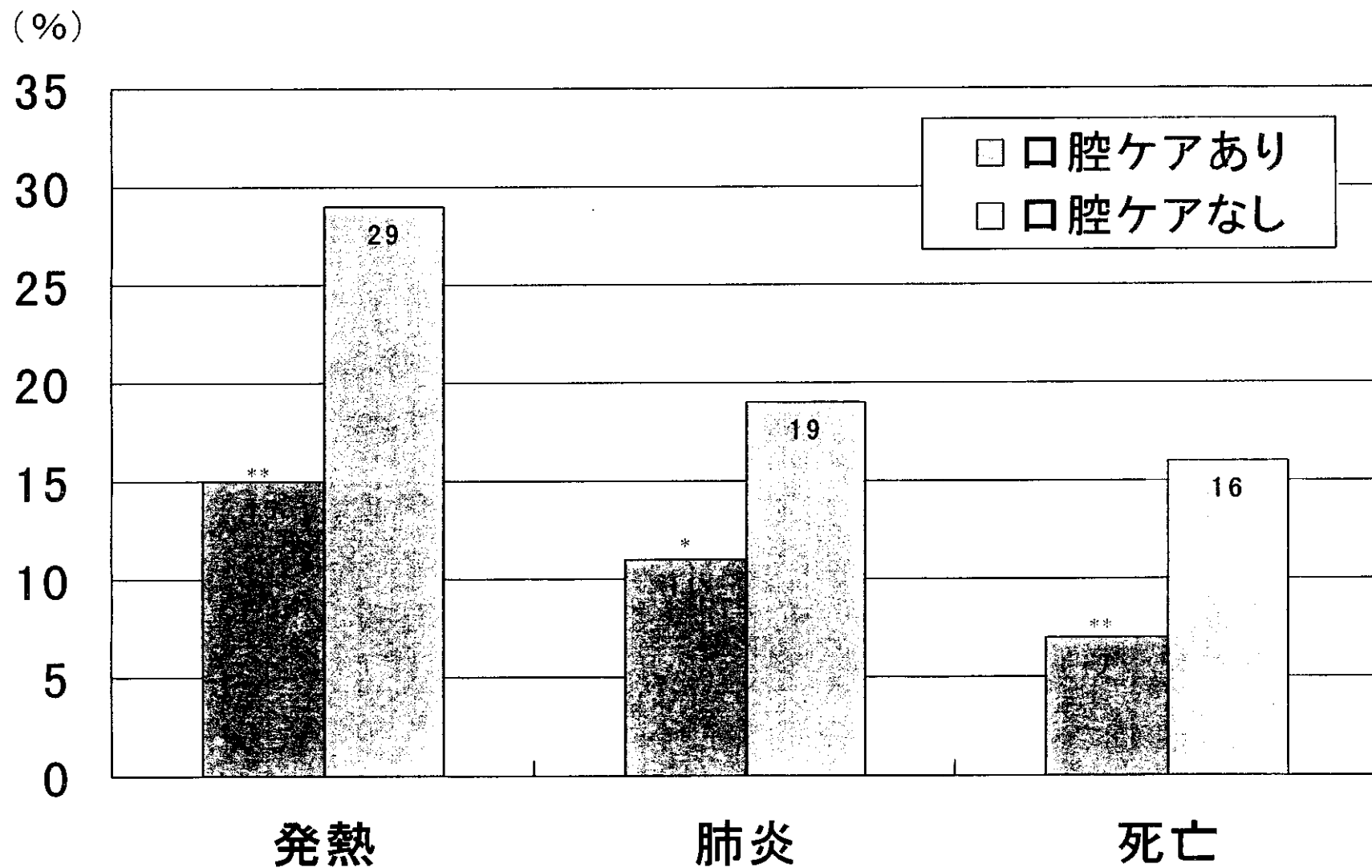
東北大学医学部 米山武義ほか

Journal of American Geriatric Society 2002年3月号

“Oral Care Reduces Pneumonia In Patients In Nursing Homes ”

○研究内容

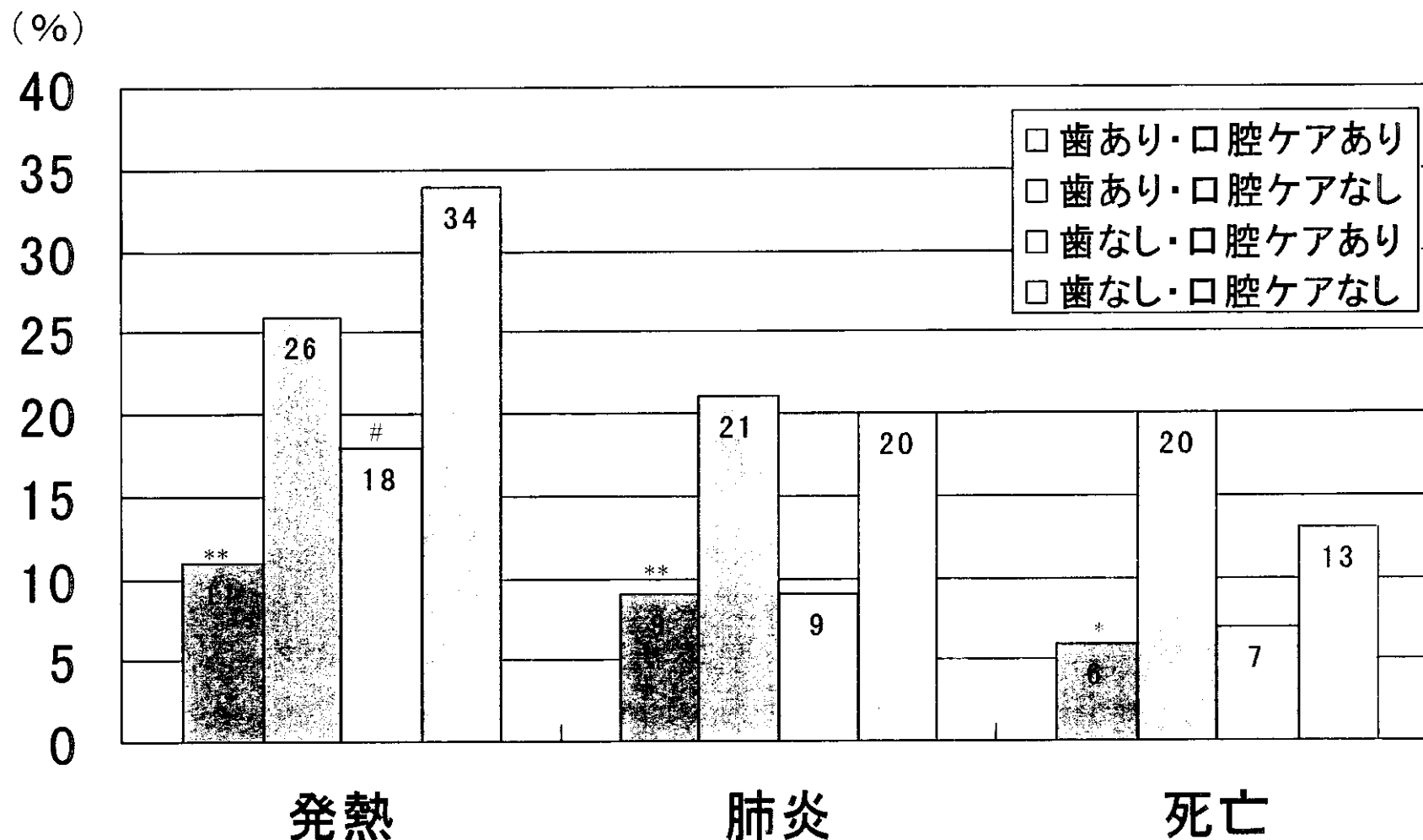
- ・ 11の老健施設の入所者470人を対象として、毎食後に口腔ケアを行ったグループと行わなかったグループ別に、その後一定期間における発熱、肺炎の発症、死亡を調査
- ・ 論文掲載紙JAGSのコメンテーターにより、アメリカにおいて口腔ケアを行った場合の医療費節減効果に関する試算あり



(注) 口腔ケアあり: 184人(男性36人・女性148人)、年齢82.0(±7.8歳)、ADL16.3(±6.5)、MMSE13.6(±6.9)

口腔ケアなし: 182人(男性37人・女性145人)、年齢82.1(±7.5歳)、ADL16.2(±6.7)、MMSE13.9(±6.9)

* P < 0.05, **P < 0.01 vs. 口腔ケアなし



(注) 歯あり・口腔ケアあり: 109人(男性27人・女性82人)、年齢79.9(±7.9歳)、ADL17.1(±6.3)、MMSE14.8(±8.5)
 歯あり・口腔ケアなし: 99人(男性19人・女性80人)、年齢79.3(±7.6歳)、ADL16.7(±6.8)、MMSE15.3(±9.9)
 歯なし・口腔ケアあり: 75人(男性12人・女性63人)、年齢84.3(±7.4歳)、ADL15.8(±6.5)、MMSE12.7(±7.8)
 歯なし・口腔ケアなし: 83人(男性15人・女性68人)、年齢84.9(±7.1歳)、ADL16.0(±6.9)、MMSE12.4(±9.2)

* P < 0.05, **P < 0.01, # P < 0.05 vs. 口腔ケアなし

口腔ケアによる医療費節減の可能性 (論文コメンテーターによる試算)

<アメリカのナーシングホームと医療費を例として考えた場合の試算>

○口腔ケアの費用

- ・口腔ケアを行う看護師を1人雇った場合の人件費 = 約25,000ドル/人・年
- ・米国のナーシングホーム施設数 = 約19,000施設

→米国の全ナーシングホームで口腔ケアを行う場合のコスト総額 500万ドル未満(①)

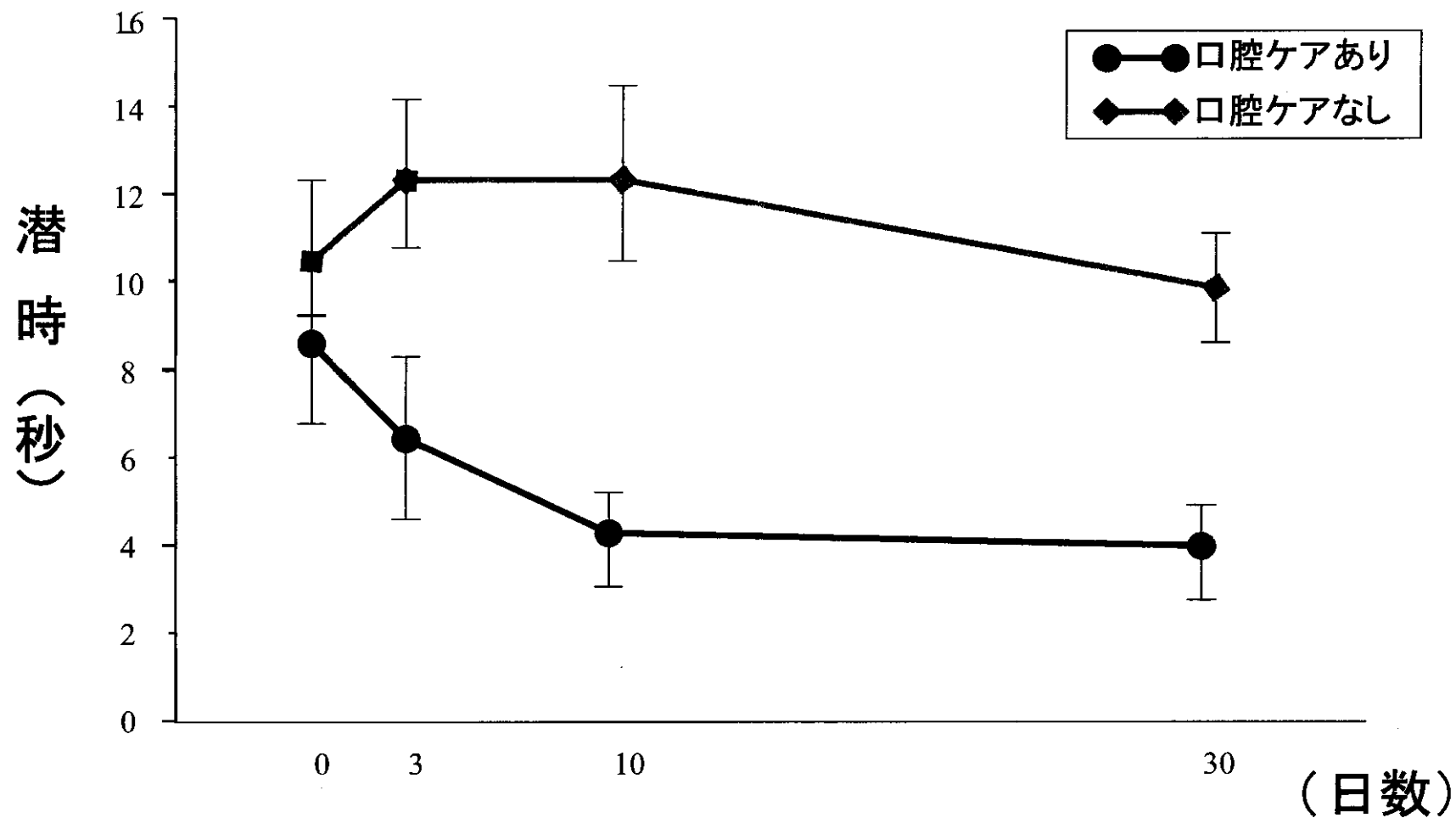
○肺炎患者の減少による医療費節減額

- ・肺炎患者が10%減少した場合の米国の医療費の節減額 800万ドル以上(②)

○口腔ケアによる医療費の節減額

- ・口腔ケアによる純ベネフィットは300万ドル以上(②-①)
- ・米山ほかの研究結果を踏まえ、口腔ケアによる肺炎患者の減少数を見込んだ場合、純ベネフィットは、さらに3倍以上の額と見込まれる。

口腔ケアと潜時の関係



資料出所: 大類孝ほか「高齢者の誤嚥性肺炎」日老医誌2003年40号